

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	2のあひる		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2026年 2月 27日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々なプログラムを提供し、ご利用児様が楽しみながら経験を積むことができ、チャレンジしてみたいと思う気持ちを育てています。	運動・製作・クッキング・お買い物・体験とプログラム設定し、同じことの繰り返しにならないようチャレンジしてみたい、作ってみたいなどの気持ちを持ってもらえるよう考えています。	法人内の事業所の場所に行くだけでなく、そこで実際に物を作ったりすることで就労などを意識したプログラムを引き続き行っていきます。
2	保護者様に対してご利用していただいている様子をしっかりと伝え、必要な情報提供を行っています。 必要に応じて面談以外にも臨時で面談をしたり、電話での相談を受け付け、ご家族の不安や困りごとに寄り添っていきけるような体制づくりを行っています。	現場職員の気づきからも管理者・児童発達支援管理責任者が保護者様対応に向かえる体制づくりをしています。 送迎でその日の様子をお伝えするなど日頃から現場職員と保護者様とのコミュニケーションを図るようにしています。	今後も現場職員と管理者がコミュニケーションをしっかりと図り、全職員で支援が行えるようにしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは整っており、訓練等も行っているが、実際の送迎中など緊急事態が起こった際よりスムーズに対応できるようしていく必要だと考えています。また保護者様への周知ができていません。	マニュアルは情報量が多く、実際に対応する際に、スムーズではない可能性があり、また災害対応情報など保護者様への周知の難しさがあります。	手順を分かりやすくしたフローチャートの整備や、訓練を行っていきます。また保護者様への発信も行ってまいります。
2	地域のお子さんとの交流の機会が少なく、保護者様への周知もできていません。	地域の大人の方に体験プログラムご協力していただいておりますが、こども同士の関りは持てていません。またどのような方がご協力しているかも言葉だけの情報になっています。	交流をできるようなプログラムを考えていきます。また、広報誌やSNSなどで情報を発信していきたいと思っております。